

神戸市感染症発生動向調査週報 … 第50週 (令和元年12月9日～令和元年12月15日)

2019/12/19作成 神戸市感染症情報センター

インフルエンザ (設置定点数:48/報告定点数:48 … 東灘区: 6 灘区: 3 中央区: 3 兵庫区: 3 北区: 8 長田区: 3 須磨区: 6 垂水区: 8 西区: 8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上
インフルエンザ	↑	63	23	33	9	52	16	24	55	64	339	0	5	11	10	17	24	29	20	22	13	10	78	12	12	27	18	12	11	6	2

小児科 (設置定点数:31/報告定点数:31 … 東灘区: 4 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	↓	3	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0
咽頭結膜熱	↓	2	1	0	0	1	0	2	0	0	6	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	1	0	1	1	4	2	4	8	6	27	0	0	0	3	4	3	6	3	2	0	2	0	1	3
感染性胃腸炎	↑	20	5	15	13	31	12	54	54	30	234	0	7	28	16	22	27	17	18	18	10	13	30	10	18
水痘	↑	0	2	0	1	6	0	0	6	3	18	0	1	0	0	0	2	2	4	2	0	1	6	0	0
手足口病	↑	1	0	2	0	3	0	1	2	0	9	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
伝染性紅斑	↓	0	2	1	0	1	0	5	4	7	20	0	0	2	0	0	2	3	7	1	2	2	1	0	0
突発性発しん	↓	0	0	1	0	0	0	1	4	1	7	1	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	↓	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<基幹定点からの報告>
 ○マイコプラズマ肺炎1例:15歳 男
 ○インフルエンザによる入院2例:
 27歳 男、82歳 女
 (いずれもインフルエンザA型)
 <麻しん患者の健康観察期間終了のお知らせ>
 11月28日に神戸市立医療センター中央市民病院から届出のあった麻しん患者については、12月19日に接触者の健康観察期間が終了しましたので、お知らせします。
 なお、本患者の届出以降、本市での麻しん患者の発生はありません。

眼科 (設置定点数:10/報告定点数:10 … 東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6カ月	～12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

A型	B型	A型およびB型 ※
273	25	0

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

今週、四類感染症のつがが虫病の届出が4例ありました。保健所で疫学調査をしたところ、特定の場所での集団感染ではなく、市内の別の場所(野山や自宅近くの草木が生える場所など)で刺されたと推定されます。つがが虫病は、ダニの一種であるツツガムシによって媒介される菌が原因で発症します。全国では、年間に2つのピークがあり、関東～九州地方では、ツツガムシが秋～初冬に孵化するため、今の時期に多くの発生が見られます。東北・北陸地方では、越冬したツツガムシが活動するため、春～初夏の発生が多いです。届出医療機関の医師からは、他のダニ媒介感染症(日本紅斑熱など)と比較すると、季節性や刺し口及び痂皮が大きいこと、皮疹が末梢よりも体幹によく見られたとの情報提供がありました。野外活動時は、肌の露出を避け、虫除け(ディートやイカリジン)を使用しましょう。また、帰宅後は、早めに着替え、入浴で吸着したダニを洗い流しましょう。

<定点医療機関からの報告>

東灘区○ヒトメタニューモウイルス3例:0歳4か月 男、2歳 男2 例 ○ノロウイルス感染症1例:2歳
 例 ○インフルエンザ1例:17歳 女 沖縄へ行った翌日から発熱(インフルエンザ定点からの報告)
 灘 区○マイコプラズマ感染症1例:10歳 男 中央区○ヒトメタニューモウイルス3例:0歳11か月 女、1歳 女、2歳 女
 北 区○アデノウイルス感染症2例:1歳 男、5歳 女 ○ウイルス性胃腸炎(アデノウイルス)1例:0歳7か月 女

全数報告 報告明細(2019-12-09~2019-12-15)

No	性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病名	病型	診断方法(検査方法)	症状	推定感染原因	備考
1	女	37	-	2019/12/10	2019/12/10	腸管出血性大腸菌感染症	O157 VT2 (無症状病原体保有者)	・分離・同定による病原体の検出(便)	なし	不明	職場の従業員検便で陽性判明
2	女	76	2019/11/26	2019/12/2	2019/12/9	つつが虫病	-	・検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出(血液、痂皮) ・間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出(IgM抗体の検出)	発熱、刺し口、発疹	つつが虫からの感染	散発事例
3	女	72	2019/11/22	2019/12/4	2019/12/11	つつが虫病	-	・間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出(IgM抗体の検出)	発熱、刺し口	つつが虫からの感染	散発事例
4	男	79	2019/12/1	2019/12/1	2019/12/12	つつが虫病	-	・間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出(IgM抗体の検出)	発熱、刺し口、発疹、肺炎	つつが虫からの感染	散発事例
5	男	88	2019/11/3	2019/11/16	2019/12/13	つつが虫病	-	・間接蛍光抗体法又は間接免疫ペルオキシダーゼ法による血清抗体の検出(IgM抗体の検出、ペア血清での抗体陽転、ペア血清での抗体価の有意上昇)	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、肺炎	つつが虫からの感染	散発事例
6	女	1	2019/11/26	2019/11/26	2019/11/28	侵襲性肺炎球菌感染症	血清型未実施	・分離・同定による病原体の検出(血液)	発熱、痙攣、菌血症	不明	ワクチン接種歴あり(4回)
7	女	33	不明	2019/12/6	2019/12/10	梅毒	早期顕症梅毒Ⅱ期	・抗体検査による血清抗体の検出	梅毒性バラ疹	異性間性的接触	-
8	女	21	不明	2019/12/12	2019/12/14	梅毒	早期顕症梅毒Ⅰ期	・抗体検査による血清抗体の検出	鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)	異性間性的接触	-
9	女	49	2019/11/18	2019/12/3	2019/12/9	百日咳	-	・単一血清で抗体価の高値	持続する咳、呼吸苦	家族内感染(子からの感染)	ワクチン接種歴不明

百日咳の届出に関しては、国立感染症研究所の「感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)」に掲載されている基準に基づいて受理をしています。医療機関において単一血清で抗体価を測定された際には、届出基準に合致しているかの確認をお願いいたします。

[リンク先: 感染症法に基づく医師届出ガイドライン\(初版\)](#)

第50週の結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症1人)です。

病原体検出状況 - 集計データ(病原体分離・検出情報)・・・ 第50週 (令和元年12月9日～令和元年12月15日)

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	診断名	備考
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	分離株	北区	男	80歳	2019/10/22	-	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	Klebsiella aerogenes、クラスC-β-ラクタマーゼ産生、PCR法による耐性遺伝子は陰性
肺炎球菌	分離株	西区	男	1歳 1か月	2019/11/20	-	侵襲性肺炎球菌感染症	血清型10A
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	25歳	2019/12/03	39.4℃	インフルエンザ	ワクチン未接種
A型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	76歳	2019/12/04	38.2℃	インフルエンザ	ワクチン未接種
RSウイルス	咽頭ぬぐい液、便	中央区	男	1歳	2019/09/13	発熱あり		-